

スミターマル【32P9BX・32P15BX・32P20BX・32P25BX】 設計・施工マニュアル①

設計時の留意事項

- 1. 対象室の断熱性能は必ず平成11年省エネ基準以上の性能を確保して下さい。
- 2. 熱取得方式により必要な蓄熱量を積算して下さい。

①『窓開口部からの進入日射利用』の場合

仕上げ材を通して熱の蓄熱放熱するため、日射のあたる部分を中心に部屋全体に敷設するようにして下さい。

※真南±30° の包囲に面する集熱開口部の面積が、対象室の床面積の10%以上必ず確保すること

蓄熱量は以下であること

蓄熱材(蓄熱量) × 蓄熱材枚数 > 対象室の床面積(㎡) × 192kJ/㎡(基準熱量)

②『屋根空気集熱式ソーラーシステム利用』の場合

屋根集熱空気集熱の場合、集熱・放熱しやすい箇所を選び敷設するようにして下さい。

※屋根空気集熱式ソーラーシステム[全館空調]利用であること

蓄熱量は以下であること

蓄熱材(蓄熱量) × 蓄熱材枚数 > 延床の床面積(㎡) × 80kJ/㎡(基準熱量)

③『温水式床暖房放熱器利用』の場合

温水式床暖房放熱器利用の場合、太陽熱利用温水床暖房(個別空調)を使用すること

蓄熱量は以下であること

蓄熱材(蓄熱量) × 蓄熱材枚数 > 対象室の床面積(㎡) × 192kJ/㎡(基準熱量)

- 3. スミターマルは、潜熱蓄熱材をポリプロピレンの容器に充填密閉しています。そのため切断しての寸法調整はできません。
また、重ね合せての施工もできません。

製品蓄熱量と仕様

『開口部からの進入日射利用』『屋根集熱式ソーラーシステム利用』

	製品名 (品番)	蓄熱材型式	寸法(長さ×巾)	寸法(厚さ)	質量	蓄熱量	潜熱蓄熱量	面積	㎡当り蓄熱量	㎡当り潜熱蓄熱量
			mm	mm	kg/枚	kJ/枚	kJ/枚	㎡/枚	kJ/㎡	kJ/㎡
1	32P9BX	32P	845×270	9	2.57	380	262	0.2282	1,663	1,147
2	32P15BX	32P	550×250	15	2.49	404	279	0.1375	2,937	2,026
3	32P20BX	32P	600×250	20	3.70	631	435	0.1500	4,208	2,902
4	32P25BX	32P	600×250	25	4.50	780	538	0.1500	5,196	3,584

JSTM O 6101に従った蓄熱特性試験結果を基に作成(15℃～35℃)

『温水式床暖房放熱器利用』

	製品名 (品番)	蓄熱材型式	寸法(長さ×巾)	寸法(厚さ)	質量	蓄熱量	潜熱蓄熱量	面積	㎡当り蓄熱量	㎡当り潜熱蓄熱量
			mm	mm	kg/枚	kJ/枚	kJ/枚	㎡/枚	kJ/㎡	kJ/㎡
1	32P9BX	32P	845×270	9	2.57	346	256	0.2282	1,516	1,122
2	32P15BX	32P	550×250	15	2.49	368	273	0.1375	2,677	1,982
3	32P20BX	32P	600×250	20	3.70	575	426	0.1500	3,835	2,840
4	32P25BX	32P	600×250	25	4.50	710	526	0.1500	4,736	3,507

JSTM O 6101に従った蓄熱特性試験結果を基に作成(20℃～35℃)